

決 裁	議 長	局 長	主 事

受付

報 告 書

平成 年 月 日

湯前議会議長 倉本 豊 様

湯前町議会議員

議員派遣として参加（出席）した研修（会議）の内容（結果）は、次のとおりでありました。

期 間	平成30年 2月 8日（木）～9日（金）
場 所	1. 宮崎県日南市 2. 鹿児島県大崎町
目 的	平成29年度行政視察

報 告 の 内 容	<p>◆研修内容</p> <p><宮崎県日南市></p> <p>1. 地域資源マーケティング推進事業</p> <p>2. テナントミックスサポート事業</p>
	<p><鹿児島県大崎町></p> <p>3. ごみ0のまちづくり</p> <p>◆所感</p> <p>私が改めて認識した重要ポイントは次のとおり。</p> <p>①ミッション・ビジョンを掲げる</p> <ul style="list-style-type: none"> ・まちを永続されること。 <p>②データと因果（原因と結果）のまちづくり</p> <ul style="list-style-type: none"> ・K（勘）、O（思い込み）、K（経験）、O（思いつき）ではダメ。 ・工場ができて、観光客が増えても、仕事があっても、人口動態や需用・供給の視点

が違ふと、期待する結果（効果）は出ない。

- ・観光で仕事をつくるには、「観光客×客単価×**域内調達率**」、地域の所得向上が伴わなければならない。
- ・行政が税金を使って仕事をつくってはいけない。
- ・何の仕事が誘致するかが重要。
＞どの職種が需要不足かを的確に把握しないと、自治体が地域産業の雇用や競争に影響を与えてしまう。
- ・過剰な需要がある職種は、生産性向上により人を減らし賃金を上げる。

③人口動態を正確に把握する

- ・住民の思いに気づき応える。（地域の人が永住したいと思えるように・・・）
- ・人口ピラミッド（人口バランス）をドラム缶状に整えることが課題。
＞歪みが出るのが真の問題。 人口減少が問題ではない！
- ・人口バランスを見誤ると、間違った政策になる。
- ・大事なのは、20～30代の人口を増やす、流出をとめる、帰ってきてもらうこと。
- ・地方はベッドタウン（大都市郊外の衛星的な町）になれない。

④地域の循環をつくる

- ・住民といっしょに、所得（人・物・金）の地域循環をつくり、生産性を向上する。

⑤上記（①～③）を判断できる地域リーダーの存在

- ・首長の迅速な決断力、職員の行動力
- ・住民リーダーの理解
- ・よそ者・若者の活用

◆総論

現状、本町ができていないこと（以下3点）を実行し、正しい方向にアプローチすることを、今後の政策議会で監査・提案していく。

- ◎ミッションとビジョンを創り、住民と共有する。
- ◎儲かる・効果のある政策を実現し、世論を味方につける。
- ◎「住民の声」「マクロ・統計データ」「タイミング」などの因果推論（因果関係を明らかにする調査）に労を使う。

※議会報告、ICTの活用で、住民意識を変えていく。